



キーパーコーティング、愛車を守る。

KeepPer TIMES

CRYSTAL KeepPer
 クリスタルキーパー

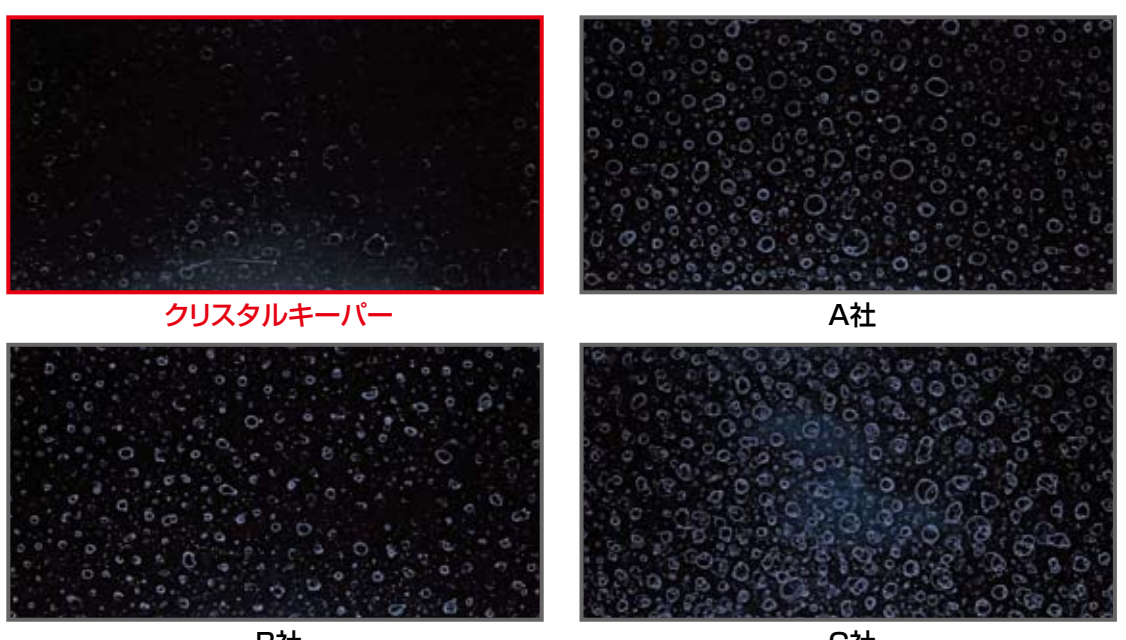
「1年間キレイ」のヒミツを公開!

他ガラスコーティングとの水シミ固着比較

ボディガラスコーティングの宿命「水シミ」問題を根本的に解決した「クリスタルキーパー」。他3種のボディガラスコーティングとの水シミ固着比較実験を第三者機関に依頼。クリスタルキーパーが圧倒的に水シミの原因となるミネラルを固着させず、水シミに強いことが証明されました!!

01 水道水のミネラルで作った「水シミ(雨ジミ、ウォータースポット)」の付き具合

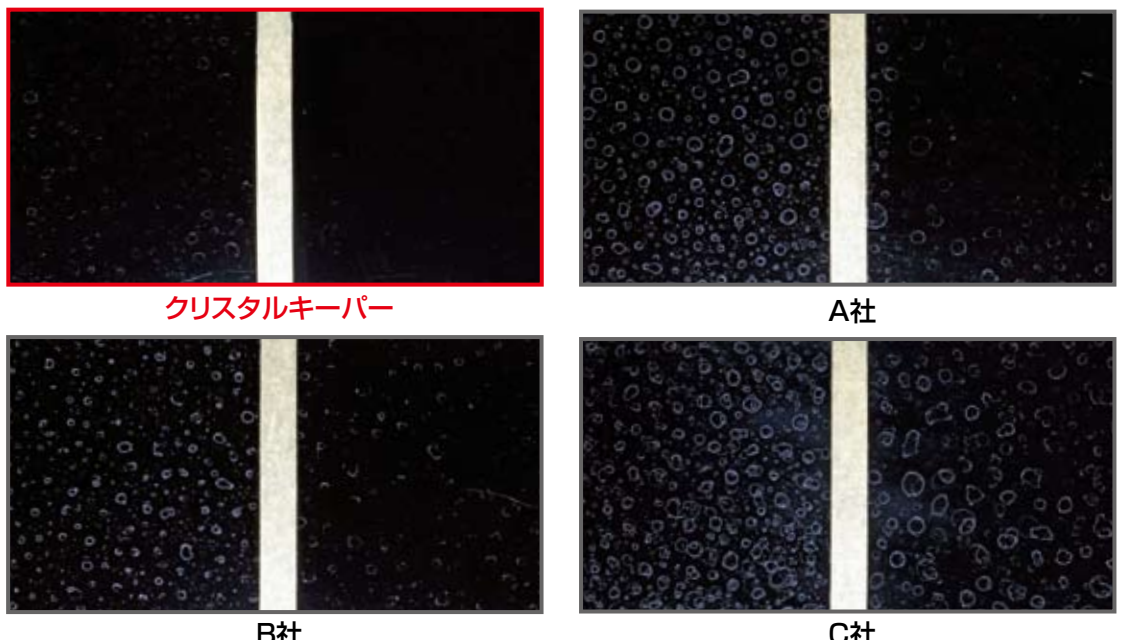
JIS規格の塗装テストプレートに、広く一般的に施工される3種のボディガラスコーティングをマニュアルに従って塗り、東京都墨田区の水道水(ミネラル130ppm)をスプレーして、温度50℃±1℃の空間で50分間乾燥させた(洗車したあと拭き上げをしなかった状態を再現)。この工程を計5回繰り返して、水シミの原因となるミネラルが、どれくらいこびりつくか調べた。



無機質のガラスむき出しの他社のガラスコーティングには、水道水のミネラルがくっつきとこびり付き、いわゆる「水シミ(雨じみ、ウォータースポット)」の状態になっている。クリスタルレジンで守られたクリスタルキーパーには、ミネラルがうっすらと乗っているだけで「水シミ」の状態にはなっていない。

02 テスト版を半分に仕切って、右半分だけをクリーナーで洗ってみた。

上記のテストプレートを半分に仕切り、「右半分」だけを洗浄剤「爆白*」で摩擦して、「水シミ」がどこまで落ちるかを調べた。この場合も厳密に平等な条件でテストされている。

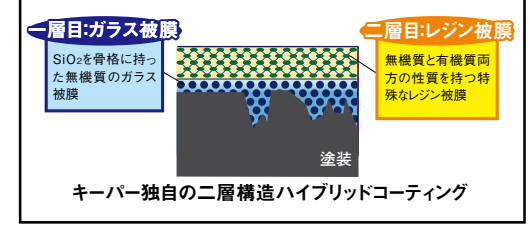


クリスタルキーパーの上にうっすらと乗っているミネラルは容易に洗い流すことができた。しかし、他社のガラスコーティングに付いた「水シミ」は塗装に食い込んでいるかのように、強力な「爆白」で洗っても「水シミ」の輪郭がくっつき残っている。これはポリッシャーとコンパウンドを使って相当な研磨をしなければ落ちそうにない。

水シミを固着させない!
 ミネラルの付着による撥水阻害も
 すぐに元に戻ります!

1年に1回被膜を入れ替えて塗装を守るから
 ずっとキレイ!

クリスタルキーパーは一層目のガラス質被膜の上に「クリスタルレジン」で二層目の「レジン被膜」を作る二層構造のボディガラスコーティングです。塗装の上にコーティングされた二層構造のクリスタルキーパーは、塗装の身代わりとなって紫外線を受け、酸性雨などを浴び、「犠牲被膜」として徐々に傷み汚れます。そして約1年後の再施工時、レジン被膜とガラス質被膜のかかなりの部分を除去し、初回と同じように二層目のレジン被膜を作ることによって、塗装本体に直接触れることなく塗装を守ります。



ハイブリッドレジン被膜が水シミの固着、撥水の低下を防ぐ

またこの二層目のレジン被膜によってボディガラスコーティングの欠点「水シミ」の固着を防ぐことに成功。水道水・地下水などの拭き残しによって、水分中の「ミネラル」などの汚れが付着すると撥水状態が悪くなることがありますが、専用ケミカルを使って洗車をすれば、すぐ元に戻ります。

1年間繰り返して、キレイを保って
 長く車に乗る

このように1年に1回、塗装の身代わりになって汚れ傷んだコーティング被膜を入れ替えることで、ガラス特有の深いツヤを維持するのが「クリスタルキーパー」なのです。キレイをずっと保って、長く車に乗ることができるコーティング本来の役割をカタチにした「クリスタルキーパー」は、多くの人から支持をいただいています。

? ※爆白とは?

「爆白(ばくはく)」は、アイ・タック技研が開発した頑固な水垢を落とす専用洗剤です。このケミカルは他商品と比べようのない、ずば抜けた洗浄力を持っています。従来の車の頑固な汚れの洗剤は、その洗浄能力と塗装に対する危険性が相反する要素として存在し、どこでバランスを取るかで製品の性質が決まる種類の商品でした。「爆白」はそれを独自の発想と特殊な手法で、きわめて強い能力と絶対的な安全性を両立しています。

